

会議結果報告書

1. 会議名 令和3年度 第3回 印西市環境審議会
2. 日時 令和3年10月20日(水) 14:00~17:00
3. 場所 印西市役所会議棟 204 会議室
4. 出席委員: 岩井会長、丹澤委員、鈴木委員、薄井委員、小川委員、富澤委員、山崎委員
事務局: 板倉市長、土屋環境経済部長、飯島環境保全課長、海老原環境保全課長補佐、
黒田保全係長、清田主任主事(環境保全課)
5. 傍聴者 1名
6. 配布資料
 - ・資料1 第3次印西市環境基本計画(素案)
 - ・資料2 第3次印西市環境基本計画(素案)への意見対応一覧
 - ・資料3 令和3年度版 印西市環境白書(素案)
 - ・2020 印西市自然環境調査報告
7. 内容
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱書交付
 - (3) 市長挨拶
 - (4) 自己紹介
 - (5) 議題
 - ①会長及び副会長の選任について
仮議長: 会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただく。議題①会長及び副会長の選任を新たに行いたい。立候補または推薦される方はあるか。
委員: 各分野に精通する岩井前会長に、再びお願いしてはいかがか。
委員: 異議なし。
仮議長: 異議なしということで、議長を岩井会長に決定する。
会長: しばらくの間、議長を務めさせていただく。副会長の選出を行いたい。立候補または推薦される方はあるか。
委員: 前回同様に岩井会長を支えていた、丹澤委員にお願いしてはいかがか。
委員: 異議なし。
会長: それでは、副会長を丹澤委員に決定する。
 - ②第3次印西市環境基本計画(素案)について
会長: 議題②第3次印西市環境基本計画(素案)について、事務局より説明をお願いする。
—事務局より、第3次印西市環境基本計画(素案)について説明—

- 会 長: 質疑に入る。何かご意見ご質問があれば挙手をお願いします。
- 委 員: 「令和3年度版 印西市環境白書(素案)」26Pの環境指標「市内駅の1日平均乗車人員」の目標が現状以上とあるが、乗車人員が少ない方が環境負荷は少ないのではないか。
- 事務局: 自家用車の利用を削減する意味合いで、公共交通の利用促進を掲げている。また、コロナ禍による人流抑制の影響により、令和2年度の利用者が減少したことも原因と考えている。
- 会 長: 他にご意見ご質問があるか。
- 委 員: 「第3次印西市環境基本計画(素案)」23Pの環境指標「農振農用地面積」「遊休農地面積」は調査に基づく数値であるか。「遊休農地面積」は確実に増えている印象を受けるため、にわかには信じられない。
- 事務局: 数値については確認させていただきたい。
- 会 長: 他にご意見ご質問があるか。
- 委 員: 「第3次印西市環境基本計画(素案)」41Pに、コブハクチョウを有害鳥獣として表記している。関係団体への影響はないか。
- 事務局: コブハクチョウ問題について、現状を報告させていただきたい。手賀沼周辺では、印西市だけでなく、柏市、我孫子市でもコブハクチョウによる農作物被害が発生し、大量に増殖していることも問題となっている。千葉県と周辺市において対策を検討しており、千葉県が手賀川の管理者として、主体的に対策に取り組んでいる。本市においても、農作物被害が発生していることを踏まえて、要望や意見を申し上げていきたいと考えている。
- 会 長: コブハクチョウのひと番いが過去に放され、市民や一般の人がエサをあげたことにより増加し、現状の数となった。もともとはいなかった鳥であり、県でも対応を検討されている。本件の詳細については、次第(6)その他に改めたい。
- 会 長: 他にご意見ご質問があるか。
- 委 員: 「第3次印西市環境基本計画(素案)」の基本目標1~4については、各課の対応が書かれるなど、施策として推進されることが予想されるが、90P「再生可能エネルギー発電事業の推進」は施策として推進されない印象を受け、実行性に疑問が残る書き方になっている。
- 事務局: 「推進する」「努める」「検討する」などニュアンスや言葉尻が環境基本計画と区域施策編で異なる箇所がある。はっきり「推進する」とある施策は、進められると考えられるが、例えば「再生可能エネルギー発電事業の推進」については「仕組み作りに努める」としており、まずは仕組み作りを検討する形にさせていただいている施策もある。

委員:印西市では経済的な発展に伴い、今後、電気使用量が大きく増加することが見込まれるが、温室効果ガスの発生源となる企業に対して、ヒアリングや協議することについては計画において記載されているか。

事務局:ヒアリングに関する具体的な記載はないが、99P では事業者の立場にとって温室効果ガスの排出抑制に向けた取組を記載させていただいている。また、やはり大きな事業者については、意見を聞いていきたいと考えており、106P 進行管理のPDCA サイクルの中で、ヒアリングや現状把握をしていきたいと考えている。

委員:「再生可能エネルギー発電事業の推進」をはじめとして、施策の実行性には疑問があり、また、PDCA サイクルの中で対応されることについても、担当者ごとの判断となる恐れがある。今後の10年間は、非常に大きな社会変化が想定されるからこそ大事な環境基本計画と考えられ、曖昧な文章のまま、環境に配慮した印西市を実現できるか心配している。長くなるため、本件については留保したい。

会長:何点か、私からも申し上げたい。90P「再生可能エネルギーの利用促進」について、山林伐採による太陽光発電は印西市では少数となっている。手っ取り早く農地を潰すことが考えられるが、指標には農家を増やそう、農地を保全しようとするものがあり、懸念される。また、バイオマスを使用した発電については、印西市内の家庭ごみや木材では必要量に足りない。バイオマスエネルギーを使用するには、それだけエネルギーが必要となる。また、印西市の森林率は20%前後であるが、そのうち99%は維持管理されていない森林である。切って新しく植えるというサイクルがないため、森林吸収量はだんだん低下すると考えられる。放置林には、イノシシやタヌキなどの野生動物の一部が生息するが、全体の多様性は減っている。自然を保護するのか、自然を利用して二酸化炭素を吸収するのか、行政において、景観・多様性などを考慮し検討されたい。

会長:他にご意見ご質問があるか。ないようなので、議題②第3次印西市環境基本計画(素案)について以上とする。

③その他について

会長:事務局より議題③その他について説明をお願いします。

—事務局より、自然環境調査について報告—

会長:ただいまの自然環境調査報告をもって、本日の議事は終了した。進行を事務局にお返りする。

(6) その他

事務局:今後、第3次印西市環境基本計画については、ご指摘に関する修正を終え、各課に確認後、12月にパブリックコメントを予定している。その後、来年2月頃の環境審議会において環境基本計画(案)としてご意見を頂きたいと考えている。

事務局:その他として、委員の皆様から何かあるか。

会 長:コブハクチョウによる被害は、田植え後の苗が食べられることや、6-7 月は田んぼの苗が踏み倒されることがあげられている。県と協議して対応されたい。引き続き、状況について共有・報告していきたい。

(7) 閉会

以上

令和3年度第3回印西市環境審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和3年11月29日

印西市環境審議会 委員 鈴木 康雄

印西市環境審議会 委員 丹澤 正直